

事業番号 2022 - 文科 - 新22 - 0005

令和4年度行政事業レビューシート(文部科学省)

事業名	新時代に対応した高等学校改革推進事業			担当部局	初等中等教育局	作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(高等学校担当)	参事官(高等学校担当) 田中 義恭	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	中央審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(令和3年1月) 学校教育法施行規則 高等学校設置基準 高等学校学習指導要領		
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	令和3年1月の中央教育審議会答申において提言された普通教育を主とする学科の弾力化(普通科改革)や教科等横断的な学習の推進による資質・能力の育成を推進し、探究・STEAM教育、特色・魅力ある文理融合的な学び、今後の社会に望まれるデジタル人材育成等を実現する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	令和4年度から設置が可能となった新しい普通科の設置を予定している学校を取組を推進するとともに、遠隔・オンライン教育等を活用した新たな教育方法を用いたカリキュラム開発等のモデル事業を実施する。加えて、新学科における学びや教科等横断的な学びを実現するためには、地域、大学、国際機関等との連携協力、調整が必要であり、その役割を担う「コーディネーター」について、その育成や活用を支援するための全国プラットフォームを構築する。						
実施方法	委託・請負						
予算額・執行額(単位:百万円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	-	206	297
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
	計	0	0	0	206	297	
	執行額	-	-	-	-	-	
執行率(%)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
	初等中等教育振興事業委託費	205	294	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。 ※指定校の拡充による費用の増			
	委員等旅費	0.6	1				
	職員旅費	0.5	0.8				
	諸謝金	0.4	0.8				
	教職員研修費	0.1	0.1				
	計	206	297				

活動内容 (アクティビティ)	高等学校及び中等教育学校の後期課程を対象とし、特色化・魅力化を実現するためのカリキュラム開発や実施体制の開発等、普通科改革の実現に資する先進的な取組に係る調査研究を実施する。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	普通科改革の実現に資する先進的な取組を通じた新しい時代の高等学校改革の推進	①本事業の支援を受けて新学科を設置又は新学科の設置に向けた取組を行った学校数	活動実績	校	-	-	-	-	-	
			当初見込み	校	-	-	-	24	40	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	①採択団体1団体当たりにかかる費用 委託費/委託団体数	単位当たりコスト	百万円	-	-	-	5.6			
		計算式	百万/件	-	-	-	委託費/委託団体数			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 6年度	目標最終年度 9年度	
	全国の高等学校において特色・魅力ある教育が実現する。	①新学科を設置する学校数	成果実績		-	-	-			
			目標値		-	-	-	50	200	
			達成度	%	-	-	-			
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	学校基本調査									
活動内容 (アクティビティ)	普通教育を主とする学科、専門教育を主とする学科又は総合学科を置く高等学校及び中等教育学校の後期課程を対象とし、教科等横断的な学びの推進に向けた先進的なカリキュラム開発や体制の構築等に係る調査研究を実施。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	教科等横断的な学びの実現を通じた新しい時代の高等学校改革の推進	②新たな教育方法による教科等横断的な学びのカリキュラム開発を開始した学校数	活動実績	校	-	-	-	6	-	
			当初見込み	校	-	-	-	8	9	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	②採択団体1団体当たりにかかる費用 委託費/委託団体数	単位当たりコスト	百万円	-	-	-	6			
		計算式	百万/件	-	-	-	委託費/委託団体数			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 6年度	目標最終年度 9年度	
	全国の高等学校において新たな教育方法による教科等横断的な学びが実現する。	②新たな教育手法による教科等横断的な学びを行う学校数	成果実績		-	-	-			
			目標値		-	-	-	30	500	
			達成度	%	-	-	-			
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	高等学校教育の改革に関する推進状況調査									

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	中央教育審議会答申等でその必要性が明記されたものであり、社会のニーズを反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	学校教育施行規則等の改正により新たな制度が設けられることや、中央教育審議会答申等でその必要性が明記され、全国の高等学校において取組を実現させる必要があることから、国が総合的に推進していく必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	中央教育審議会答申等でその必要性が明記され優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	企画競争により審査委員会を経て採択先を決定予定
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	審査委員会を経て採択先を決定する。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	必要経費を精査して積算している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	審査委員会を経て真に必要な経費のみ補助する。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	審査委員会を経て真に必要な経費のみ補助する。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	他手段は考えられない
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	事業番号	事業名	-
点検・改善結果	点検結果	本事業は中央教育審議会答申等でその必要性が明記されたものであり、優先度の高い事業である。	
	改善の方向性	委託先の選定にあたっては、公平性、透明性の確保に努める。事業の実施にあたっては、委託先と十分に連携し事業目的に沿った成果が効率的に達成されるよう努める。	
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
事業の実施状況等を踏まえ、適切なアウトカムの設定について不断の見直しを図ること。引き続き事業の着実な実施及び適切な予算執行に努めること。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
事業の着実な実施及び適切な予算執行に努める。			

